

アットマークテクノは、組み込みコンピュータやIoT関連製品を開発・製造している国内メーカーです。2001年に「Armadillo(アルマジロ)シリーズ」を発表して以来、産業機器、通信機器、家電製品など幅広い分野で利用される組み込みシステムを提供しています。

## ■ 会社概要

【会社名】株式会社アットマークテクノ

【本 社】北海道

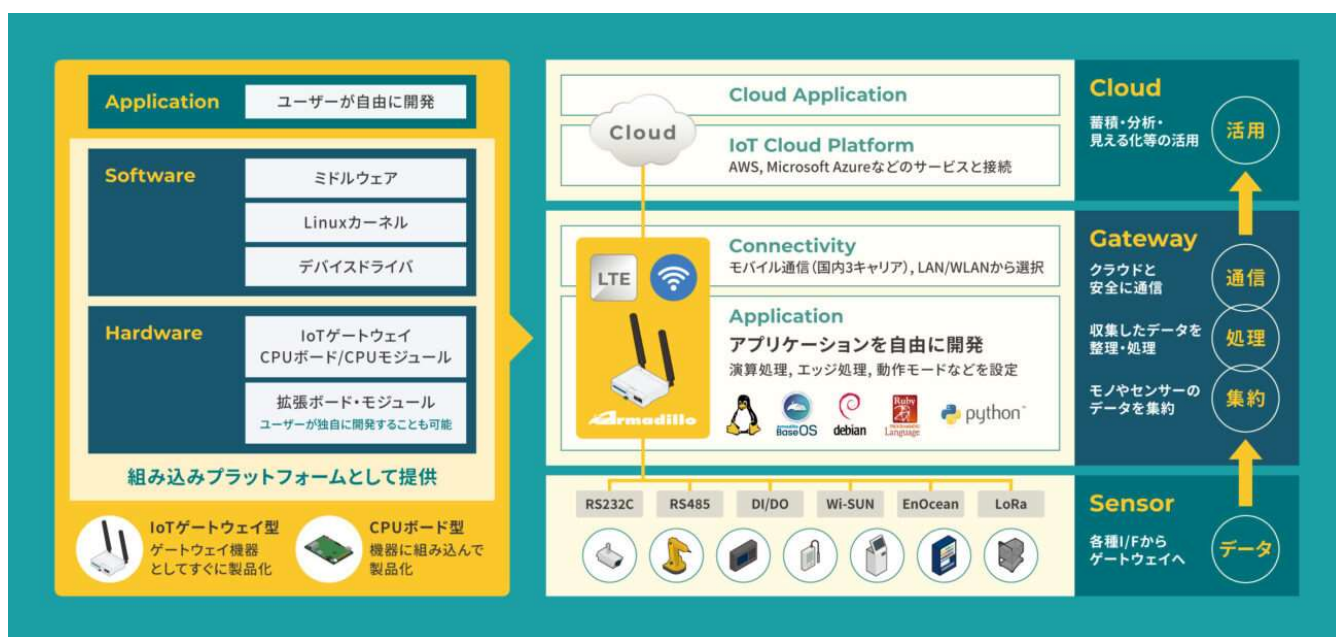
【創 業】1997年

【Webサイト】<https://www.atmark-techno.com/>

## ■ 製品情報

### Armadilloシリーズ

組み込みプラットフォームArmadilloは、Armプロセッサ搭載・Linux OSプリインストールの「IoTゲートウェイ」と「CPUボード」からなる製品シリーズです。ユーザーが自由に開発したアプリケーションを書き込むことで、監視・制御・通知など様々な機器やソリューションを実現できます。PoCや試作開発だけでなく、量産を前提とした設計がなされており、産業用途向けとして各種サービス・サポートも充実しています。



## ■ アプリ例

施設の見守りシステム、店舗顧客の動線解析、エッジAI画像認識、スマートアグリ  
無人施設の監視システム、配達用スマートボックス、架橋の水量・水位監視、製造ラインの自動化  
遠隔地の災害監視、ポイント端末・画面付き機器、保管庫の室内管理、デジタルサイネージ



## 最新Armadillo製品ラインアップ（ArmadilloBaseOS対応）

### IoTゲートウェイ

設備・機器・センサーとの通信やエッジコンピューティングなど、目的に合わせたアプリケーションを開発し本体に書き込むことで、オリジナルのIoTゲートウェイを実現できます。エッジAI処理に対応する高性能モデルから間欠動作に対応する省電力モデルまで幅広く展開しており、シリーズによってはモバイル通信モジュールや無線LANモジュールの搭載有無を選択することができます。

**Armadillo-IoT G4**



**Armadillo-IoT A9E**



**Armadillo-IoT A6E**



### CPUボード/CPUモジュール

コネクタが実装済みでそのまま使えるシングルボード型と、小型・薄型で自由に拡張設計できるモジュール型のモデルをラインアップしています。シングルボード型はUSBやLANなどの主要なコネクタを標準搭載しており、すぐに製品に組み込むことができます。モジュール型は拡張ボードを開発することで基板形状やケーブルの引き出し位置などを自由に設計できるので、筐体に合わせた製品を作ることができます。

**Armadillo-X2**



**Armadillo-900**



**Armadillo-640**



**Armadillo-610**



## Armadillo BaseOS（ABOS）

アットマークテクノが提供するArmadillo専用ディストリビューションです。LinuxベースのOSで、コンテナ管理機能やソフトウェアアップデート機能などを搭載しています。開発が簡単なだけでなく、安全性の高いIoT機器を構築することができます。ABOSを搭載するArmadilloシリーズはデバイス運用管理クラウドサービス「ArmadilloTwin」に対応するため、長期の安定運用をサポートする環境も用意されています。また、ABOS搭載製品は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が運用開始予定のIoT製品に対する「セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR）」の基準★1に適合予定です。



## ArmadilloTwin

ArmadilloBaseOS搭載のデバイスをリモートから運用管理することができるクラウドサービスです。様々なタスクをリモートから実行できるようになり、OSアップデートもダッシュボードからの操作で行えるので、稼働中のデバイスは常に最新の状態を維持できます。バグ修正やセキュリティ対策などのメンテナンスのほか、機能追加や設定変更、アプリケーションのアップデートなども行えるため、設置現場に出向くことなく計画的・効率的なDevOpsを実現します。

